無料

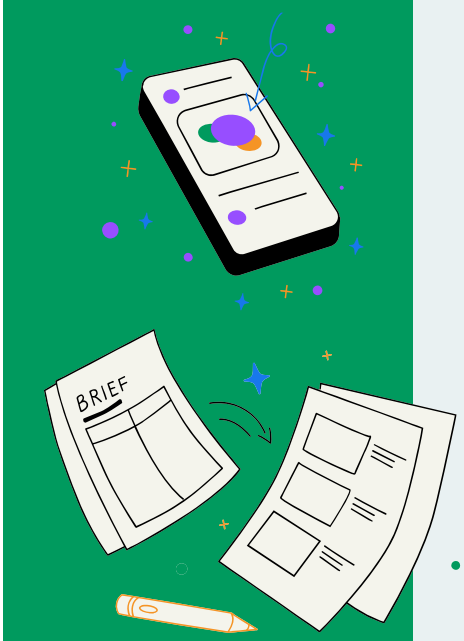
能登半島地震からの
くらし・すまい・なりわいの回復：
市民防災×事前復興の視点からの連続勉強会

公益財団法人 東京都都市づくり公社と東京都立大学は、2024年能登半島地震からのくらし・すまい・なりわいの再建についての共同研究を実施しています。能登半島地震被災地の「いま」を「わがごと」として、市民防災×事前復興の視点から考えていくための連続勉強会を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

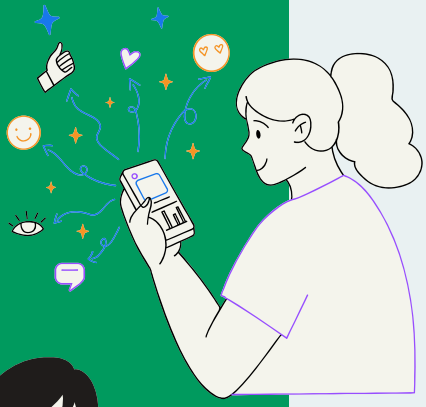
主催　公益財団法人 東京都都市づくり公社、東京都立大学
協力　一般社団法人 災害協働サポート東京

開催方法：Zoomによる配信
対象　　：自治体職員、社会福祉協議会職員、生協職員
　　能登半島地震の復興や市民防災に関心のある
　　学生や市民など オンライン300名まで
参加費　：無料
申込方法：下記URL、または右QRコードよりお申込みください

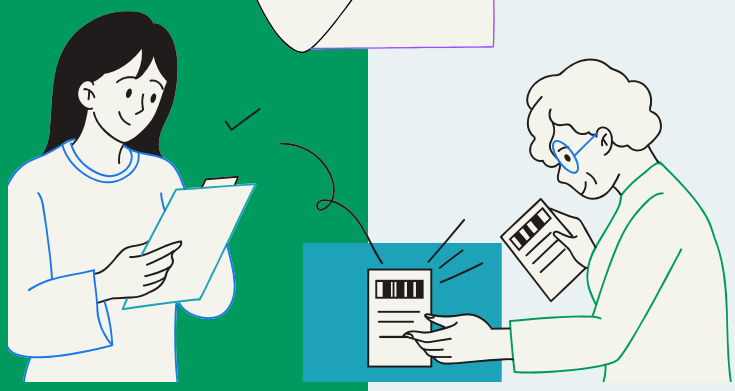
https://tmubousai202402.peatix.com



02. 広域避難・広域仮住まいへの支援
2025/2/18(火)15:00-17:00
SPEAKER：東海大学 特任講師
須沢栞さん



03. 被災者支援と被災地コーディネート活動
2024/ 3 月予定
SPEAKER：調整中



01. 被災地支援で民間団体が果たす役割
2024/12/18(水)18:30-20:00
SPEAKER：ピースボート災害支援センター
事務局長 上島安裕さん

問い合わせ先：東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科
都市防災・災害復興研究室
tmu_bosai@ichiko-lab.org

02. 広域避難・広域仮住まいの実態と支援

能登半島地震においては、インフラ復旧に時間を要していることもあり、能登半島から金沢・加賀方面等への広域の避難、仮住まいが生じています。広域避難、広域仮住まいへの避難先、避難元自治体の支援や民間団体による支援の実態と課題についてお話いただきます。

日　時　2025/2/18(火)15:00-17:00

SPEAKER　東海大学 特任講師
須沢 栞さん

専門は建築計画学・住居学。2021年3月に東京大学大学院工学系研究科建築学専攻を修了、日本女子大学家政学部住居学科助手・助教を経て、2023年4月より現職。博士論文では、東日本大震災後の岩手県盛岡市を対象に、沿岸から内陸部への広域避難の実態や居住支援の実施状況について明らかにしている。災害復興関連では、応急仮設住宅や災害公営住宅の居住環境や供給計画、避難先での学校の再開などの研究を行っており、2024年能登半島地震後の広域避難の実態や支援に関する調査研究にも取り組んでいる。主な受賞歴に、住総研博士論文賞、復興デザイン会議復興研究論文奨励賞など。

COORDINATOR　東京都立大学 助教 益邑明伸

専門は都市計画、復興まちづくり。被災地域における復興都市計画と産業復興についての研究、地域住民主体の復興まちづくりの支援を行なっている。著書に「津波被災集落の復興検証：プランナーが振り返る大槌町赤浜の復興」（共著、萌文社、2018）。

申込締切
2025/2/18 (火) 10:00まで

問い合わせ先：東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科
都市防災・災害復興研究室　tmu_bosai@ichiko-lab.org